



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 田中 孝史
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp



ストライキ突入集会・4名のスト参加者(目黒局前)

怒りのストライキ!

会社側の正式回答(3月18日)

- ① 正規・非正規のベースアップは困難
- ② 一時金は昨年同様、4・3月
- ③ 均等待遇要求、ほぼゼロ回答

6年連続ベアゼロ回答

全国で15職場
 26人が突入
 東京は5職場5名

東京地本は春闘第二弾として、21春闘勝利3・19ストライキ連帯行動を目黒局においておこないました。早朝6時45分から本部統一ストライキビラ配布から始まり、7時30分よりストライキ突入集会を開催しました。

ストライキ突入集会は、鶴島地本執行委員の進行でおこない、主催者あいさつを田中地本委員長、続いて中央本部から兼子副委員長があいさつならびに春闘交渉報告をし、ストライキ参加者の紹介とあいさつをおこないました。

小関さん(小石川局)、三村さん(王子局)、松原さん(蒲田局)、郡さん

3月19日 突入集会 本社前集會をおこなう



本社前集會・ベアゼロ回答に対し怒りの声をあげる

(目黒局)、安達さん(板橋北局)の5名が指名ストに入りました。

その後参加支援団体からの連帯あいさつが、東京地評・東京全労協・南部全労協から行われ、全国一般なんぶを紹介し、参加支部からの連帯あいさつを銀座支部・小石川支部がおこない、最後にシユプレヒコール、団結ガンバロで連帯集會は終了して、本社前ストライキ集會に移動

してきました。

11時から本社前において、東京・関東地本を中心に集會しストライキ本社前集會を開催して、当日は全国6拠点15職場26名がストライキに突入しました。

会社からの不誠実な回答、6年連続のベアゼロ回答、エッセンシャルワーカーとして働いている社員への安全対策など誠意ある回答がありませんでした。

今、「なおみ」が輝いている。テニス全米オープンで決勝までの全試合で黒人に対する人種差別や警察による暴力の犠牲者の名前を7枚のマスクに遺した▼東京オリンピック・パラリンピック開閉会式で、容姿を侮蔑する演出の企画。「私自身はこの体型で幸せです。今まで通り、太っていることだけにこだわらず・・・表現して、いきたい」と▼更に「一人の人間として、それぞれの個性や考え方を尊重し、認め合える世界を」とも述べている▼差別言動を繰り返すお偉い人たちには、差別とは何なのか、全く解っていないのだろう。この二人の行動、発言は理解の外にあるのだから▼いつの日だったか、忽然と姿を消した。演歌、ジャズ、ブルース、シャンソン、ファドを見事に歌いこなす。その哀愁に満ちた歌声は、ここを揺さぶる。友川カズキ作詞作曲「夜を急ぐ人」、浅川マキ訳詞「朝日のあたる家」を歌う▼その人の名前も「なおみ」。「喝采」を歌った女性。(一)

2万5369筆の 非正規署名提出

1320筆
追加提出 (3/4)

3・1
前集会を
本開催



3月1日、郵政ユニオン東京地本は春闘第一波の行動を、毎年恒例の春闘キャラバン行動の代わりに全支部一斉朝ビラ行動をおこないました。

赤坂・小石川・王子・目黒の4局を拠点とし、ビラまき行動を行ってきました。各局での反応も良かったです。おはようございます、頑張ってくださいと声をかけてビラを受けとっていく社員もいましたが、局によっては労務担当・総務部長が入口に立つ局もありました。

その後、郵政本社前に合流して、11時より非正規署名の提出(当日2万5369筆)、11時30分よりスタンディング集会をおこない、東京地本・関東地本の非正規組合員からの代表発言がありました。短時間の集会ではありましたが、最後に日巻中央執行委員長の団結ガンバローで終了しました。

現場労働者の声を聞け

21春闘地本要求

毎回、要求書の提出から約一か月もかかって回答が出されています。交渉の場が良くて3月末となり、ほとんどが次年度の開催となっていることを受けて、今21春闘は要求書を2月10日支社に提出し、3月1日を回答指定日としました。

コロナ禍ということもあってか3月1日に回答がありました。(郵送のため3月2日着)それでは交渉微調整と思いきや、3月7日までの緊急事態宣言が延長されてしまい、交渉日程が21日以降になり年度内開催が怪しくなっています。

コロナ禍ということもあってか3月1日に回答がありました。(郵送のため3月2日着)それでは交渉微調整と思いきや、3月7日までの緊急事態宣言が延長されてしまい、交渉日程が21日以降になり年度内開催が怪しくなっています。

ゆうメイトゼロ施策

回答を見てみると、20年度の年繁での「ゆうメイトゼロ施策」については問題なし、としています。今年にはコロナ禍ということもあり郵便物の減少があり、結果として乗り切れたと考えるべき。現場では、7日以上の連続出勤や非番・週休の買い上げが行われていますし、その中でも1月3日全社員を週休指定

勤務時間

勤務時間管理については、一時期時間前着手や昼の帰局時に強い口調での指導をしていたが、今では何らその陰すら見えていない状態です。継続してやるように要請していきます。

要員

要員関係では、郵便関係の職場では欠員は当たり前で、班や部を超えた応援体制で、その場しのぎの対策をしています。また、配達要員が集まらないので、組立ゆうメイトに置き変えられた例もあります。一方で、その組立ゆうメイトに対し、コストコントロールとの理由で作業日数や作業時間の短縮をしています。これらは、土曜休配への下地と考えられます。土曜休配の要求は新たに提出していきたいと考えています。

営業

営業関係については、コロナ禍での対面営業について自粛していくよう要請していきます。

郵便部関係については、「土曜休配」とも絡むので次回の交渉でも追及していきます。期間雇用社員関係では、



各支部からの声を場の中で出していきます。

ロッカー交換

ロッカー関係では、特に、この時期でのロッカー交換についてどうなのか。したくないという社員に対してはどのような対応をとるのか。残留等の防止になつているのか。また、更衣室の「密」についての考えを引き出していきます。

交渉が年度内に行われるよう最大限の努力をしていくことと、交渉人数の制限や時間の制限をさせないよう努力していきます。

当面の行動日程

4月8日	第8回地本 執行委員会
9日	中央総行動(経団連 前・日比谷 公園・銀座デモ)
13日	韓国サンケン労組 支援集会
15日	第3回支部長会議
19日	労契法20条集団 訴訟(進行協議)
	労契法20条追加 訴訟